

8万都市いしおかの再生を目指して



メッセージ
～ 消えてたまるか！若手職員からの手紙～

2015年7月
石岡市人口減少問題研究会

当市の人口減少問題に取り組むため、平成26年11月、若手職員を中心とした組織である「**石岡市人口減少問題研究会**」を立ち上げ、検討を日夜重ねてきました。

これから人口増加のための事業提案を行います。事業のひとつひとつに、若手の思いが詰まっています。

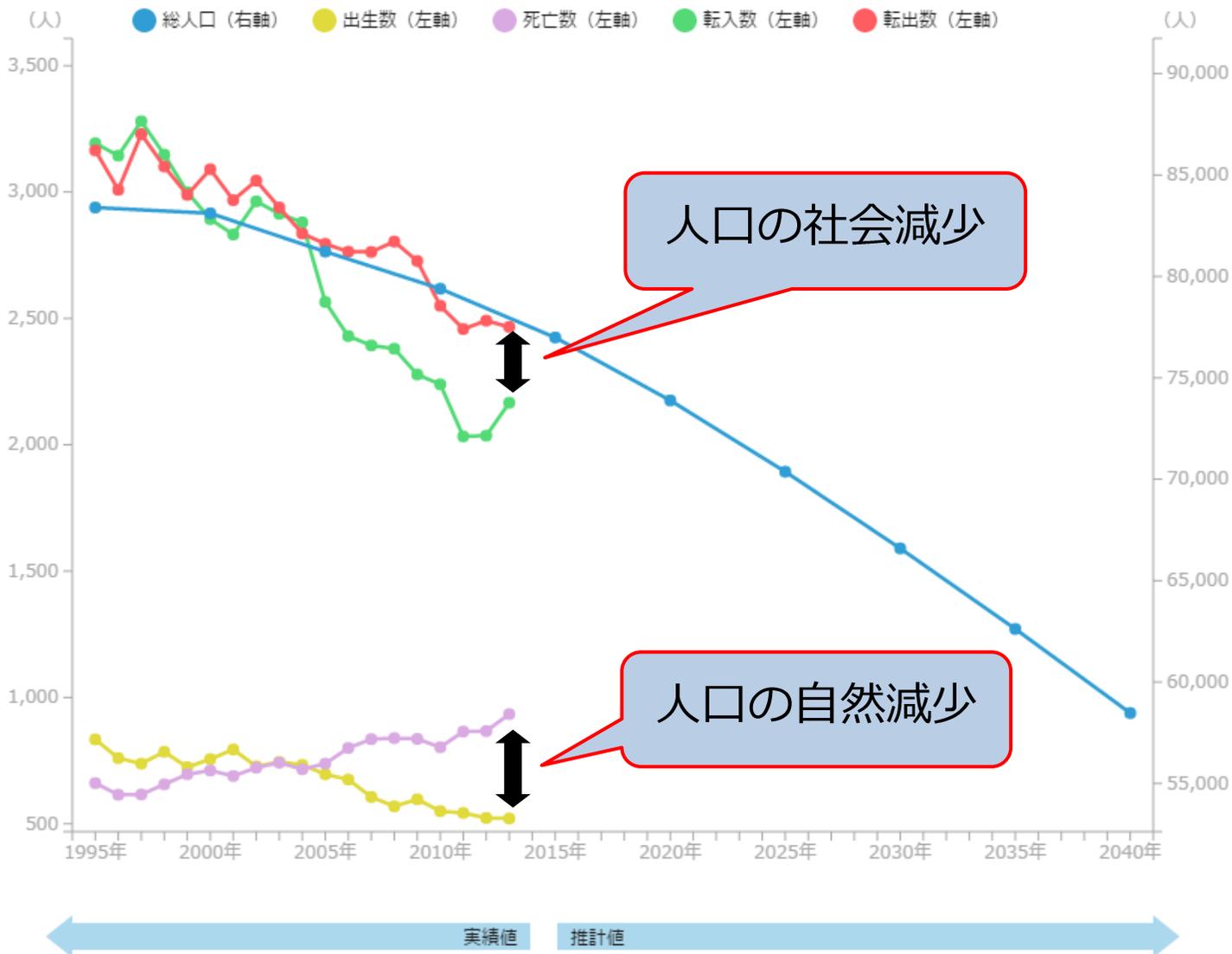


石岡市の人口について



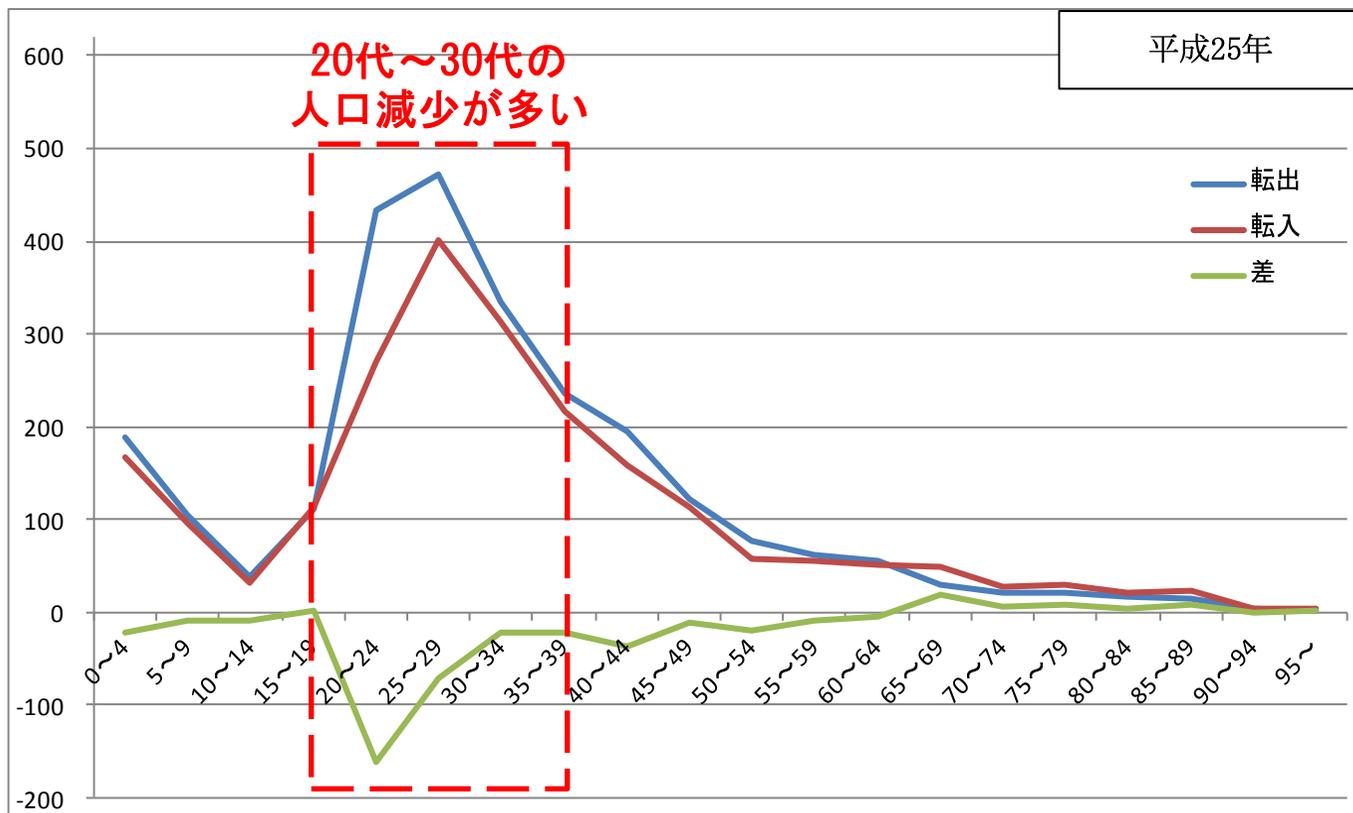
背景

《 石岡市の人口推移 》

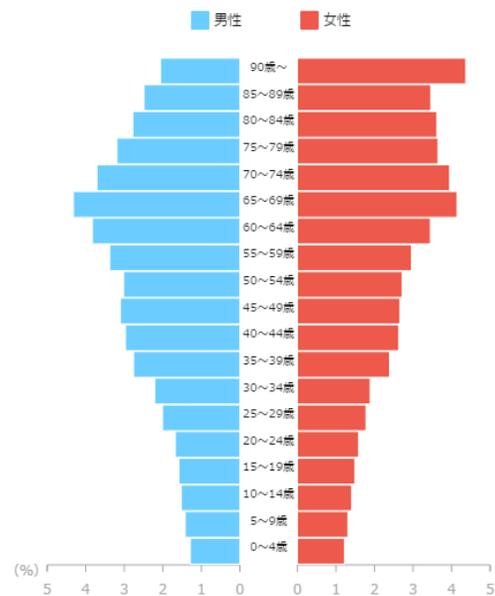


背景

《 石岡市の社会減の特徴 》



2040年推計値 総人口 58,471人



老年人口 (65歳以上) : 24,409人 (41%)
 生産年齢人口 (15歳~64歳) : 29,290人 (50%)
 年少人口 (0歳~14歳) : 4,772人 (8%)



石岡市の人口減少の要因について



(1) 自然減少の要因について

要因	内容
子育て費用の負担感	<p>出生から学費まで、子育てにかかる費用が大きいことから、出生率に影響を与えていると考えられます。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・子育てにはお金がかかる。・1世帯当たりの所得が十分と言えない。
晩婚化・未婚化の進行	<p>晩婚化・未婚化が進んでいることから、生涯出生数の低下が生じていることが考えられます。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・第1子の出生時期が遅くなることで、第2子以降の出生が減少しているのではないかと。・不妊治療を行う夫婦が増えている。・出産医療の発達で30代後半以降でも子どもを産める可能性が高まった結果、ある程度の年齢でも大丈夫と思ってしまう。・出会いの場が少ない。
ライフスタイルの変化	<p>生き方や価値観の多様化により、希望する子供数が減少していると考えられます。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・出産よりも自分の趣味などを優先する人が増えている(海外旅行が好きだが、子どもがいると行けなくなってしまう)。・自分自身の生活のことを考えるだけで精一杯、余裕がない。
仕事と子育ての両立への不安	<p>共働き世帯の増加や核家族化の進展により、子育てを取り巻く環境の変化が生じ、出生率に影響を与えていると考えられます。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・仕事と子育ての両立に自信が持てない。・安心して子育てができる職場環境が整っていないなど、子どもを産み育てやすい社会であるとは言えない状況がある。

石岡市の人口減少の要因について



(2) 社会減少の要因について

要因	内容
地域間の競争	<p>近隣の生活利便性の高い市町村への人口流出が生じていると予測されます。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・生活、交通、就学、就労等の環境がよりよい地域への人口流出が原因と考えられます。・つくば市や土浦市へ転出していると考えられます。
住宅の不足	<p>駅周辺の賃貸住宅等が少ないと考えられること及び市内の利便性の高いところでは家賃が高いことが考えられ、社会減少の一因と予測されます。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・利便性のよい駅前には、今後住宅地としての開発が見込めない。賃貸住宅の家賃が高い。・利便性の高い所に大規模な分譲住宅等がない。
職の不足	<p>近年の求職者のニーズに応えることができる企業が不足していると考えられ、社会減少の一因と予測されます。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・給料水準の高い業種がない。職業の選択肢が少ない。就職したい職場がない。・県外に就学する学生も多く、そのまま現地で就労してしまう。
交通、生活インフラの不足	<p>都内まで通勤に時間がかかることや、車を持っていないと就労することが困難であると考えられ、社会減少の一因と予測されます。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・自動車がないと生活できない。都内まで通学、通勤がしにくい。より都会的なところに住みたい。
住環境への思考	<p>若い世代の住民にとって、地域コミュニティへの関わり合いに煩わしさを感じ、一方で、地域志向のある者はそのコミュニティに受け入れてもらえるかを考えており、良くも悪くも住環境への思考が社会減少の一因と予測されます。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域とのつきあいが煩わしい。しがらみがある。より都会的なところに住みたい。・地域に受け入れてもらえるかどうかの心配。
情報の不足	<p>石岡市の情報が不足していることや、空き家等の新たに生活をしようとする者が欲する情報が一括管理されていないことから、転入先として選択されにくいことが予測されます。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・空き家や空き店舗があっても、どこに問い合わせようかわからない。

4つの課題

生活環境
の充実

子育て環境
の充実



雇用
の創出

シティ
プロモーション

生活環境の充実 提案事業



生活環境の充実



強み (Strengths)

- ・朝日トンネル,スマート I C 等交通アクセスが優位
- ・県内都市へのアクセスの良さ
- ・未使用地が多くある

弱み (Weaknesses)

- ・車に対する依存度が高い

機会 (Opportunities)

- ・常磐線東京駅乗り入れに伴うアクセス面の向上

脅威 (Threats)

- ・空き家の増加に伴う景観・治安の悪化

「生活環境の充実」

に有効と考えられる対策

○生活環境

- ・質の高い教育環境づくり(石岡独自のもの, 若者のコミュニケーション教育など)

- ・石岡市への移住を希望する方への支援

- ・市民活動センターの開設(市民活動に対する情報提供など)

- ・公共施設の充実(公園等子どもと安心して遊べる場の環境整備, 図書館, 保健センター等の整備)

- ・空き家利用, 住宅の整備(移住者への情報提供, 廃校等を利用し事業展開やアウトドア体験)

○交通インフラ不足解消

- ・JRの利便性向上, 市内在住通学者, 通勤者に対する支援

- ・交通機関の充実と利便性向上

空家の活用



専門窓口の設置

移住ツアーとの連携

情報の一元化

生活環境の充実（提案事業）



事業名

空き家の活用

事業概要

石岡市における、空き家の管理・相談窓口を一本化することで、様々なニーズに対応することができるとともに、移住者の増加を図ります。

実施方法

庁内に、空き家の管理・把握や相談窓口、移住ツアー等を所管する移住専門の部署を創設します。

実施内容

移住専門部署を創設し、空き家の管理や相談を一括して請け負うことにより、シニア・起業・シングルマザーなどの様々なニーズに対し、空き家の紹介・売却やシェアハウス化、移住ツアーとの連携など多面的な事業展開を行います。

定期券購入補助



定期券購入代金の還付

就学時の転出防止

子育て世代の負担軽減

生活環境の充実（提案事業）



事業名

定期券購入補助

事業概要

子育て世代に対する負担軽減や大学、高校進学時の転出を減少させるために、定期券の購入補助を行います。

実施方法

市がJRや関鉄、私鉄等の交通機関と協力し、石岡市に住所を有する学生（含通勤者）に対し定期券購入代金の還付を行います。

実施内容

石岡市に住所を有する学生に対し、中学・高校・大学等の入学時及び在学中に定期券購入代金の還付を行うことで、子育て世代の負担軽減を図り、進学時の転出を減少させます。

図書館の魅力充実



貸出図書が増加

内装の改修

書籍販売・喫茶スペースの創設

石岡の新たなシンボルに

生活環境の充実（提案事業）



事業名

図書館の充実

事業概要

石岡市の図書館をさらに魅力的にするために、貸し出し図書の増加や書籍販売を行うとともに、内装を北欧インテリア風に改装し、喫茶スペースを設けます。

実施方法

図書館の運営・管理を指定管理者に委託し、内装の改修及び書籍販売業者やカフェ等の誘致を行います。

実施内容

貸し出し図書の増加や内装の改修、販売スペースの創設により、図書館の魅力を向上させ、子供たちの集合場所や石岡の新たなシンボルとして周知することで、子育て世代の移住を図ります。

就業支援・雇用創出 提案事業

強み (Strengths)

- ・多様な人材を有する
- ・歴史的・文化的産業の存在
- ・教育環境の充実
- ・ふるさと納税による知名度の向上

弱み (Weaknesses)

- ・職の選択肢が少ない
- ・他市町村への労働力流出が進んでいる
- ・人材の不足

機会 (Opportunities)

- ・地域志向の高い若年層や企業の増加
- ・活力のある高齢者の増加

脅威 (Threats)

- ・認知度が低廉
- ・東京への一極集中
- ・生産人口の減少
- ・低廉な海外製品

「雇用の創出」

に有効と考えられる対策

○職の不足の解消

- ・ITインフラ整備による田舎でのIT業務環境の提供
- ・就農に対する支援の充実
- ・創業・起業に対する支援の充実
- ・企業誘致の推進, 移動してくる企業に対する支援の充実
- ・伝統産業への就労機会への支援

高校生の心に火を灯す「カタリバ」



若者の「職業観」の把握

石岡に関心を持ってもらうきっかけ

未来の人材育成



雇用の創出・就業支援（提案事業）



事業名

働くってなに？を考えるワークショップ ～高校生の心に火を灯す語らいの場～

事業概要

石岡市には3つの県立高校があります。卒業と同時に石岡市を離れるかどうかの選択をする大切な時期である高校生たちと、石岡市の魅力を共有し、課題をともに考えることによって、一緒にこれからの石岡市をつくっていくきっかけ・関係づくりを行います。

実施方法

高校の協力のもと、キャリア教育の一環として、大学生から20代の若者、NPO団体等と連携し、「働くとは何か」などをテーマとしたワークショップを実施します。

実施内容

- ・少人数ごとのグループによる対話形式で実施します。
- ・高校生の職業観の意識調査

地域おこし協力隊の導入

魅力的な地域資源の活用

**地域おこし協力隊による
市の魅力発信**

**移住の促進
伝統産業のイメージアップ**



協力・連携団体

- ・茅葺き屋根保存会
- ・アートサイト八郷
- ・八豊祭
- ・森のようちえん あおぞら♪
- ・こんこんギャラリー
- ・やさと陶芸協会
- ・観光協会
- ・商工会議所・商店街
- ・自治会



雇用の創出・就業支援（提案事業）



事業名

私が輝けば石岡も輝く仕事づくり～地域おこし協力隊の導入～

事業概要

石岡市には、茅葺民家や神社仏閣、観光果樹園などの魅力的な地域資源が多くありますが、それを活用した職の担い手が少ないため、地域おこし協力隊を導入し、市の歴史的・観光的資源を用いたプロモーションを行います。

実施方法

地域おこし協力隊と茅葺屋根保存会や観光果樹組合などの各種団体とが相互協力し、市の魅力発信を行います。

実施内容

石岡市の歴史的・観光的資源および、それらを用いたプロモーションを地方思考の都市部の若者や市出身の転出者に対して行うことで、移住の促進や伝統産業のイメージアップを図り、人的資源の獲得を促します。

石岡の魅力を引き出す喜業誘致



市の魅力や資源を活用した
企業の誘致

新たな駅舎内や庁舎に出店

市内10人程度の雇用創出



雇用の創出・就業支援（提案事業）



事業名

私が輝けば石岡も輝く仕事づくり～石岡の魅力を引き出す**喜業**の誘致～

事業概要

市の資源である果物を活用し,高級フルーツ店を駅舎や庁舎の中に誘致することで,石岡市の魅力を引き出し,雇用の場を創出します。

実施方法

高級フルーツ店など,市の資源や魅力を活用した企業を駅舎,庁舎の中に誘致します。

実施内容

新庁舎,新駅舎の建立を契機とし,石岡市近郊の果樹を用いた高級フルーツ店の出店契約締結を目指すとともに,市内10人程度の雇用創出を図ります。

子育て環境の充実 提案事業

強み (Strengths)

- ・行政等が出会いの場の提供を支援している
- ・妊娠・出産期の支援策が充実している
- ・教育環境が充実している

弱み (Weaknesses)

- ・子どもと過ごせる魅力的な場が少ない
- ・公園や公共施設の魅力が低い

機会 (Opportunities)

- ・生徒数減少に伴う教育の質の向上が期待される
- ・地域コミュニティへの支援拡充
- ・遊休施設の利活用が求められている

脅威 (Threats)

- ・少子化に伴う学校数の減少への懸念
- ・人口減少による個人の負担（教育環境、税負担など）の増加
- ・空家の増加に伴う景観・治安の悪化

「子育て環境の充実」

に有効と考えられる対策

○財政的な支援

- ・住まい(アパート・新築住宅など)への補助制度の充実
- ・子育てにかかる経費などに対する支援の充実
- ・出産にかかる経費などに対する支援の充実

○働く環境と子育て環境の両立

- ・子育て支援センター機能の充実
- ・ワークライフバランスの向上
- ・子育てヘルパー制度の充実

○晩婚化への対応

- ・出会いサポートセンターの充実
- ・まちの由緒有る場での結婚式をステータスにしていくなどの環境づくり
- ・恋人の出会いの場づくり

子育て☆フェス



4C

キュート

コミュニケーション

コミュニティ

コラボレーション

子育て環境の充実（提案事業）

実施内容

市内外に住む子育てパパ・ママやおじいちゃんおばあちゃんを対象として、イベントを実施（2000人が集まるイベントに）

- 今までの石岡にはない，子育てに関する「おしゃれでかわいいイベント」
- ステージイベント
（家族ファッションショー，子育てママのトークセッション）
- 市の子育て事業のPR
（乳がん検診，各種助成制度，補助制度の周知）
- ワークショップの実施
（オリジナルデザインのBaby in Carやピンクリボンづくり）
- 子どもが楽しく遊べるブースの設置



昨年の「移住女子トーク」の様子

→ **来場者アンケートを実施して、子育てママのニーズをつかんで、活かす！**

子育て環境の充実（提案事業）



事業名

子育てフェスティバル（仮称）の開催

事業概要

石岡市の子育にまつわる様々な情報を発信し、石岡市の子育てに関するイメージアップを図り、市内への定住と出生率の向上を図るため、子育てフェスティバル（仮称）の開催をします。

実施方法

週末や夏休みの期間を利用して、市内の子どもの休めるスペースのあるところで、未就学のお子さんを育てている保護者を中心に実施。

シティプロモーション 提案事業

強み (Strengths)

- ・情報発信戦略があり、情報発信方法についての決まりがしっかりしている。
- ・市として情報発信に力を入れている。

弱み (Weaknesses)

- ・情報発信が不足してしまいがち
- ・市外に居住している方に対する働きかけが難しい

機会 (Opportunities)

- ・情報発信手段の増加（スマートフォンの普及など）

脅威 (Threats)

- ・他の自治体も、情報発信に力を入れている。
- ・自治体からの情報以外でも、多くの情報を得ることができるようになってきている。

「シティプロモーションの充実」
に有効と考えられる対策

○情報発信手段の充実

- ・フリーペーパーの発行、シティーセールスマガジンの発行

○市外在住者に対する情報発信

- ・都市部にて田舎定住希望者に向けた説明会の実施（移住説明会など）

○インターネットを活用した情報発信の充実

- ・子育てポータルサイトの創設、SNSを活用した情報発信、HPの統一

フリーペーパーの発行とスタンプラリー



市民記者の採用

地元企業の声や移住のエピソードなどの紹介

スタンプラリーによる交流

シティプロモーション（提案事業）



事業名

フリーペーパーの発行とスタンプラリーの開催

事業概要

石岡市の良さのPRのため、市内の飲食店や観光拠点、地元企業が市民記者として情報の発信を実施します。あわせて、スタンプラリーなど、情報の発信者と情報の受信者の交流のきっかけを作り、交流の働きかけをします。また、市内に住む人働く人の情報を発信します。

実施方法

市内の飲食店や観光拠点、地元企業が市民記者となり、自らの情報を発信します。また、市に移住をした人や市内で働く人からの情報を発信します。季刊として年4回程度フリーペーパーを発行。

発信内容

地元企業の声、移住のエピソード紹介など、石岡で住む・働く人の記事を中心。そばなどの飲食店や果樹園、観光施設等の情報を発信。

移住ツアー



市の民間団体との連携

移住経験者や就農者，空き家の
家主など，地元の方との交流

都心の若者の移住につなげる

シティプロモーション（提案事業）



事業名

移住ツアーの実施

事業概要

田舎暮らしに興味があるが、体験をするきっかけが少ない方を対象に、市の民間団体や移住者と連携した移住ツアーを実施し、石岡の良さを知ってもらい、移住のきっかけづくりをする。

実施方法

移住体験を実施している八豊祭メンバーや、新規就農者に対する支援を実施しているJA等と協力し、首都圏からの移住ツアーを実施する。

事業内容

石岡市への移住者や就農者、空き家の家主など、石岡に住む人と交流をすることで、石岡市の魅力を知ってもらい、移住のきっかけをつくります。

今すぐに私たちができること

情報発信！



ワークライフバランスの向上



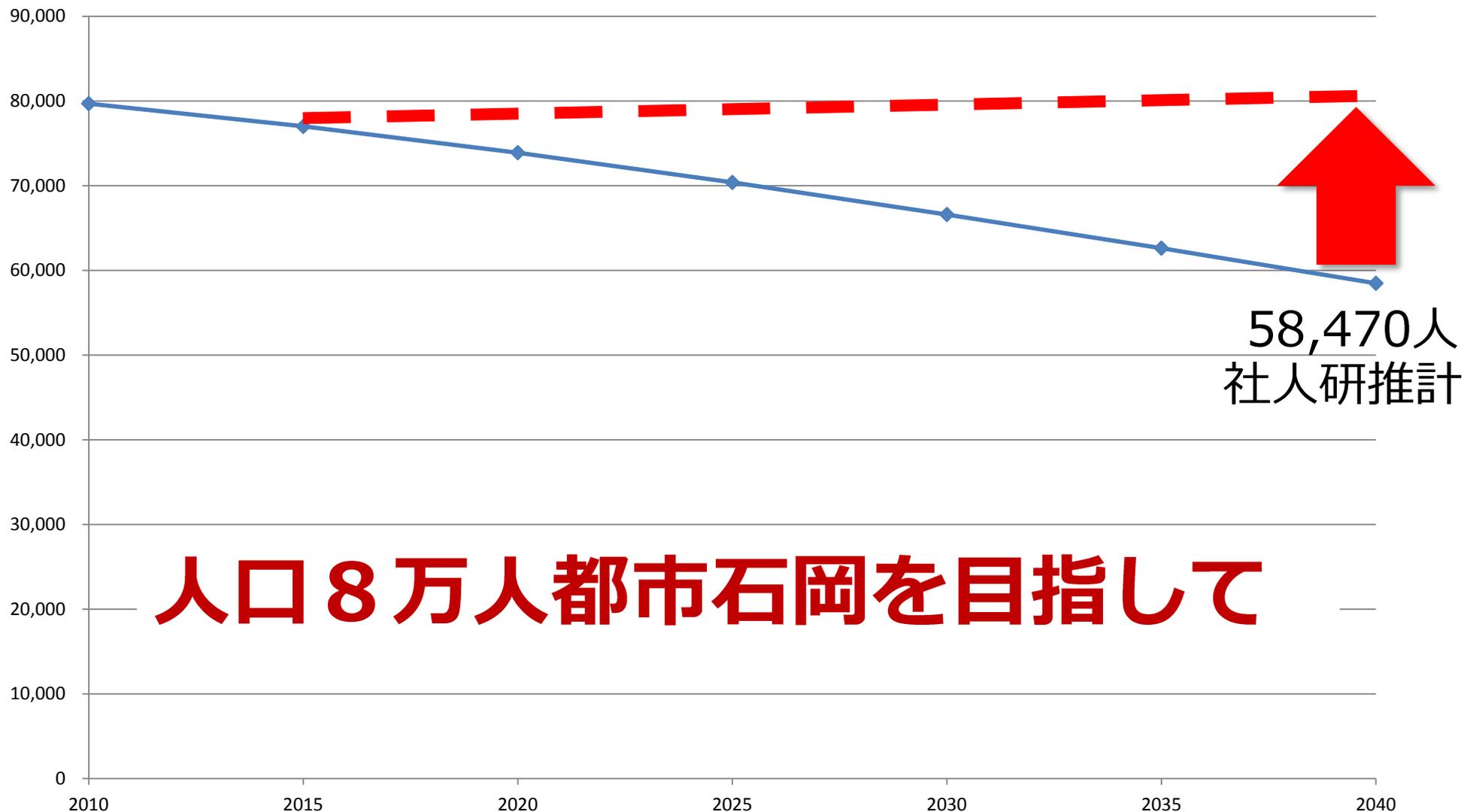
人と人とのつながり！



みんなで考える！



研究会における将来人口目標



人口8万人都市石岡を目指して

(参考資料 1)

石岡市人口減少問題研究会名簿 ◎リーダー ○サブリーダー

少子化対策グループ	
氏名	所属
島田 義孝	生活環境課
森井 麻里	健康増進課
○柴田 京子	市民窓口課
大林 勉	こども福祉課
◎片岡 達也	下水道課

雇用創出・就業支援グループ	
氏名	所属
○高橋 真希	秘書広聴課
佐藤 しおり	収納対策課
比企 信太郎	議会事務局
枝 岳 司	農政課
◎富田 悠介	政策企画課

シティプロモーショングループ	
氏名	所属
○原田 智史	教育総務課
中村 和貴	都市計画課
田村 亜希	政策企画課
白谷 徹	道路建設課
福村 泰子	社会福祉課

生活環境グループ	
氏名	所属
田村 仁志	社会福祉課
平田 麻美	保険年金課
高橋 淳一	総務課
富永 千恵美	観光課
○佐藤 光	市民課

(参考資料 2)

回	開催日	内容
第1回	平成26年11月10日	趣旨説明, アイスブレイク, グループリーダーの選出等
第2回	平成26年11月26日	SWOT分析やKJ法を用いた現状分析 アイデアフラッシュ
第3回	平成26年12月16日	人口減少の要因分析, 人口減少に対する施策の検討
第4回	平成27年 1月16日	人口減少に対する施策の検討についての取りまとめ
第5回	平成27年 2月10日	中間報告書の取りまとめ(子育て環境の充実, 雇用の創出) 次年度の展開について
中間報告	平成27年 3月23日	これまでの取りまとめについて中間報告を実施
第6回	平成27年 4月20日	生活環境とシティプロモーションについて, 協議を実施
第7回	平成27年 5月14日	目標人口について協議, 4つのグループを設置
第8回	平成27年 6月 9日	目標人口の決定, 事業の整理, 人口減少の石岡市の姿の協議
第9回	平成27年 7月 2日	提案事業の協議, 今すぐ取り組むべきことについて協議
第10回	平成27年 7月 9日	提案事業の最終整理, 目指すべき石岡市像について協議